

M O N T H L Y **vol.63** U P

見えない目、「紙の目」について。



より良い印刷物づくりには目利きが大事。 「縦目」と「横目」の活かし方。

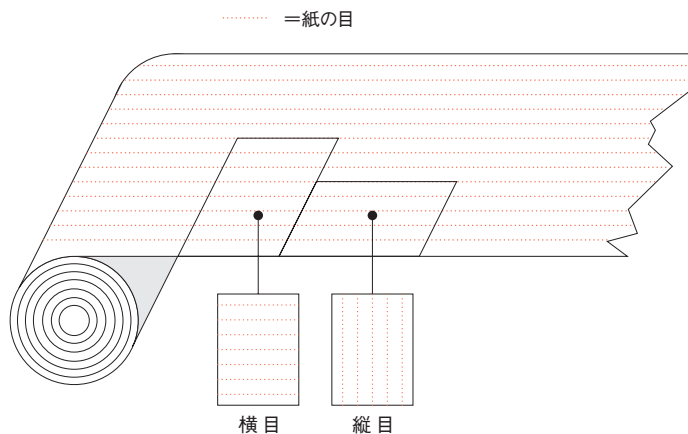
「紙の目」と聞いても、あまりピンとこないかもしれません。

しかし紙や印刷に関わる業界ではなじみの深い言葉。紙の目が違うだけで、出来上がりの印刷物に大きな差が発生するため、注意が必要です。

紙を構成する繊維の流れを「紙の目」と呼びます。そしてこの繊維の流れの向きによって、紙の目は「縦目」と「横目」に分かれます。下図のように、紙の長辺に対して紙の目が平行なら縦目の紙、垂直なら横目の紙ということになります。

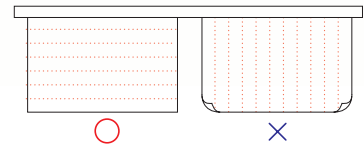
ひと目ではなかなか判断が難しい、縦目と横目ですが、さまざまな見分け方があります。たとえば、必要のない紙があれば2つに裂いてみてください（このマンスリーアップを破るのはご勘弁を）。紙の目と平行なら、比較的まっすぐ裂けますが、紙の目に逆らって裂くとジグザグになるはず。また紙を湿らせてみると、紙の目と平行にカールするのがご覧いただけると思います。

より良い印刷物をつくるうえで、紙の目を考慮することは非常に重要。印刷工程や使い勝手において、大きな影響を与えます。そこで今回は、この紙の目を特に注意する必要があるケースをいくつかご紹介します。



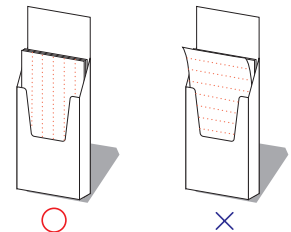
● 「中吊ポスター」

紙の目が吊り棒と垂直の場合カドがはね上がってしまうことがあります。



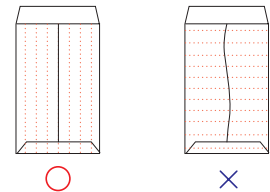
● 「スタンドラック入りカタログ」

紙の目が地に対して平行だと、しっかりとたたないケースもあります。



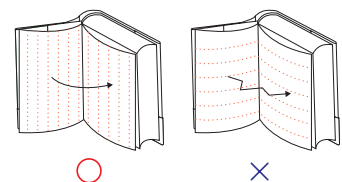
● 「封筒」

紙の目に逆らって折ると、折りがデコボコになったり、糊付け部分がしわになるなど、不良品の原因となります。



● 「本」

紙の目が製本の背と垂直だと、ページが開きにくくなります。また製本の折り加工においても、紙の目を注意しないと折りズレが生じる恐れがあります。





<http://www.sezax.co.jp>

□本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511(代)	FAX 03 (3758) 2754	
		営業専用	FAX 03 (3758) 2544	
□渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03 (3400) 9211(代)	FAX 03 (3409) 7315	
		5F	TEL 03 (3400) 9401(代)	FAX 03 (5468) 9253
□マニュアル企画部	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2591(代)	FAX 03 (5482) 2777	
□下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516(代)	FAX 03 (3758) 8850	

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970(代) FAX 03 (3409) 2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 0527(代) FAX 03 (3409) 6610



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。

この小冊子は再生紙を使用しています。